

令和4年7月吉日

護持会役員の皆様方
本年“新盆”の皆様方

萬年山 法輪寺
住職 海野高敬

令和4年度 第1回 役員会議 議事録

7月18日（月）に筆頭総代の森川様と話し合い、新型コロナの再流行のよる安全性の確保のために『令和4年度第1回役員会議』の開催を中止とさせて頂きました。

これに伴い、本書『役員会議 議事録（案）』を皆様にご確認いただきたいと思ひます。ご意見やご質問など御座いましたら8月5日までに法輪寺までご連絡ください。令和4年度の第1回役員会議の議事録は後日、ホームページ上にPDFデータでアップロードさせて頂きます。

【報告事項】

①法務について

・令和3年度の事業報告書（葬儀・法事・塔婆・御朱印の集計）

法輪寺の事業は「葬儀」「回忌法要」「塔婆」「墓地管理」「御朱印」の5つで構成されております。令和3年度「葬儀」は33件・「回忌法要」は80件・「塔婆」は1,109本「檀家の増減」は無しでした。「御朱印」の収入は大きく伸び、コロナ禍で厳しい財源でしたが「御朱印」の収入があったからこそ、客殿の改装工事が行えました。

・檀信徒の管理業務（紙⇒デジタル）

- > 『過去帳のデジタル化』 → 完了しました。
- > 『檀信徒個別の詳細なデータ』 → 現在製作中です。

従来の過去帳では故人様のご命日が分かっていないと対象の方の索引ができませんでした。今までの例として故人様の知人がお参りにいらしゃっても、故人様の正確な命日やお墓を現在管理されている方をお寺にお教えいただけないと墓地にご案内できない状態でした。この状況を改善しようと思ひ、部分的な情報だけで索引できるように檀信徒の管理体制の見直しを行うことにしました。これらは法務の合間に少しずつ進めて行きます。

②対外事業について

- ・メディア放送後における寺の変化
- ・法輪寺へ向けられる関心

昨今は『法輪寺だより』にも表紙にしている“花手水”が世間に注目されております。丁度、お盆の時期につづけ様にTVに法輪寺の花手水が取り上げられたことにより、お盆期間中はお寺が大変賑わいました。中でも墓参りに来られた方の反応が印象的で多くの方にお褒めの言葉を頂きました。

また、この様な注目は御朱印などの事業に結び付かなければ継続が困難になります。昨年度は御朱印の事業収益が大きかったこともありますので、本年も寺の営繕維持の為に御朱印の事業収入を増やせる様に励んでいきたいと思っております。

③改修事業について

- ・擁壁工事の進捗

現在は地盤調査が終わり、擁壁工事の具体的な見積もりが出来上がった頃になります。この擁壁工事には約2ヶ月の工期が設けられ、費用は3,300万円ほどとなります。9月に着工し、10月下旬～11月に竣工予定となります。尚、檀信徒への募金の公募は行う予定はございません。

- ・合祀墓（ごうひ）事業について

現在は需要が高まりつつある“合祀墓”ですが、法輪寺でも建立を計画しております。これは、社会性の高い事業にするつもりで、法輪寺の檀家ではない方を対象にした集合墓地となります。昨年は大きな財源となった御朱印の事業収入ですが、御朱印のブームは時間と共に減少していくことが予想されます。その穴埋めとして将来的に法輪寺の営繕維持の助けとなる事業となると良いと思っております。こちらは専門業者と2年ほどの準備期間を設けて、丁寧に進めて行きたい事業となります。

現在、業者と2回の打ち合わせを行い周辺寺院のマーケティングを行っております。

【審議事項】

①改修事業について

②法務について

- ・布施一覧表の見直しについて

最近は通夜を行わない、『1日葬』が急増しました。法輪寺のみならず首都圏ではスタンダードになってきた葬儀の様式です。法輪寺は時代の多様性について柔軟に受け止め、

この件を中心にした、新たな『布施金額一覧表』を次回10月開催予定の役員会議に提出し、決議を取りたいと思います。

・年会費の見直しについて

十分な協議を行なわれていない為、この件は今回保留といたします。

③その他

※役員会議の議事録は8月13日までに法輪寺ホームページ『檀信徒へのお知らせ』の項にPDFデータでアップロードいたします。

④次回の会議での検討事項

- ・新たな布施一覧表について
- ・年会費の見直しについて

法輪寺 連絡先

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-1-15

萬年山 法輪寺

住職 海野高敬

TEL/FAX：03-3203-5410

メール：ko-kei0612@ho-rinji.com

●さいごに

6月の梅雨明けからの連日猛暑日に加え、コロナ第7波など誰も予期しなかった出来事が続け様に起こります。それとは別に私事ですが7月は近親者の死去など大きな事がたくさんありました。なんとか住職としての責務があるお陰で前を向いております。人が亡くなって始まる“寺と檀家の付き合い”は人生そのものと深く認識する。そんな1ヶ月がこの7月でした。皆様におかれてはいつ終わるか見えない大変な時期ですが、法輪寺の邁進を温かく見守っていただけますと幸いに思います。

この第7波もいずれ収束すると思いますが、まだまだこの暑い夏は続きます。お身体に気をつけて日々をお過ごしください。

合掌